



*Better Health, Brighter Future*

# 2016年度 業績概要 DATA BOOK

武田薬品工業株式会社(証券コード：4502)

お問い合わせ先 グローバルファイナンスIR

TEL：03-3278-2306

<http://www.takeda.co.jp/>

決算データ

<http://www.takeda.co.jp/investor-information/results/>

---

## もくじ

---

I. 業績の状況	
1. 連結純損益計算書等	1
2. セグメント情報	3
3. 地域別売上収益の状況	
◆ 連結売上収益（医療用医薬品+コンシューマーヘルスケア+その他事業）	5
◆ 連結医療用医薬品売上収益	5
◆ 医療用医薬品 グローバル主要品目売上高	7
◆ 医療用医薬品 米国主要品目売上高（現地通貨ベース）	10
◆ 医療用医薬品 国内主要品目売上高	12
◆ 一般用医薬品 主要品目売上高	14
4. 連結財務状態計算書	16
5. 連結キャッシュ・フロー計算書	18
6. 資本的支出、減価償却費および償却費、減損損失	19
7. 人員の状況	20
8. 株主の状況	21
9. 為替レート	22
10. 財務指標	23
II. パイプラインの現状	
1. 開発の状況	24-28
■ がん領域	
■ 消化器系疾患領域	
■ 中枢神経系疾患領域	
■ ワクチン	
■ その他	
■ 最近のステージアップ品目	
■ 開発中止品目	
■ 返還・売却・他社へ導出した品目	
2. 研究の状況	28
■ 主な共同研究開発活動	
■ ホームページで開示している臨床試験情報	

---

# I. 業績の概況

## 1. 連結純損益計算書等

(億円)

	14年度	15年度	16年度	対前年同期		17年度見込
売上収益	17,778	18,074	17,321	△753	△4.2%	16,800
知的財産権収益・役務収益	875	565	601	37	6.5%	
売上原価 (注1) (注2)	5,281	5,352	5,588	236	4.4%	
<率>	<29.7%>	<29.6%>	<32.3%>	<2.6pt>		
売上総利益	12,498	12,722	11,733	△989	△7.8%	
<率>	<70.3%>	<70.4%>	<67.7%>	<△2.6pt>		
販売費及び一般管理費 (注1) (注2)	6,347	6,508	6,191	△317	△4.9%	
<率>	<35.7%>	<36.0%>	<35.7%>	<△0.3pt>		
販売費	4,366	4,606	4,265	△341	△7.4%	
一般管理費	1,981	1,902	1,926	24	1.2%	
研究開発費 (注1) (注2) (注3)	3,529	3,358	3,123	△235	△7.0%	3,100
<率>	<19.9%>	<18.6%>	<18.0%>	<△0.5pt>		<18.5%>
製品に係る無形資産償却費及び減損損失 (注3)	1,764	1,318	1,567	249	18.9%	
その他の営業収益	1,072	213	1,435	1,222	-	
補助金収入 (注2)	31	-	0	0	-	
賃貸収入	39	34	31	△3	△8.7%	
固定資産売却益	328	1	8	7	-	
譲渡事業に係るロイヤリティ収入	65	49	15	△34	△68.6%	
条件付対価に係る公正価値変動額	513	56	184	128	-	
事業譲渡益	-	-	1,154	1,154	-	
その他	95	73	43	△30	△41.3%	
その他の営業費用	3,222	444	729	285	64.2%	
賃貸収入に付随して発生した直接的な費用	22	50	19	△31	△61.5%	
寄付金	15	24	38	13	54.1%	
事業構造再編費用 (注4)	312	258	546	288	111.9%	
アクロス訴訟填補引当金繰入	2,741	-	-	-	-	
その他	132	112	126	14	12.5%	
営業利益	△1,293	1,308	1,559	250	19.1%	1,800
<率>	<△7.3%>	<7.2%>	<9.0%>	<1.8pt>		<10.7%>
金融収益	154	216	123	△94	△43.3%	
受取利息	23	23	20	△3	△12.8%	
受取配当金	33	33	32	△1	△2.8%	
売却可能金融資産売却益	89	151	36	△114	△75.8%	
為替差益 (デリバティブ評価益を含む)	-	-	19	19	-	
その他	9	9	15	5	56.6%	
金融費用	329	319	232	△87	△27.2%	
支払利息	58	53	76	23	43.4%	
条件付対価に係る公正価値変動額	162	76	22	△54	△70.8%	
売却可能金融資産減損損失	17	23	37	13	56.9%	
為替差損 (デリバティブ評価損を含む)	39	140	54	△86	△61.3%	
その他	53	27	44	17	63.0%	
持分法による投資損益	13	△0	△15	△15	-	
税引前当期利益	△1,454	1,205	1,433	228	18.9%	1,900
法人所得税費用	△24	371	278	△92	△24.9%	
当期利益	△1,430	835	1,155	320	38.4%	
<率>	<△8.0%>	<4.6%>	<6.7%>	<2.1pt>		
親会社の所有者持分	△1,458	802	1,149	348	43.4%	1,380
<率>	<△8.2%>	<4.4%>	<6.6%>	<2.2pt>		<8.2%>
当期包括利益合計	△1,809	△396	931	1,327	-	
<率>	<△10.2%>	<△2.2%>	<5.4%>	<7.6pt>		
親会社の所有者持分	△1,866	△403	936	1,339	-	
<率>	<△10.5%>	<△2.2%>	<5.4%>	<7.6pt>		
実効税率						
国内の法定実効税率	35.6%	33.0%	30.8%	△2.2pt		
連結純損益計算書上の税率	1.7%	30.7%	19.4%	△11.3pt		

(注) 1. 新組織体制への移行および管理計算制度の変更に伴い、15年度の表示科目の一部が変更されており、14年度においては当該表示科目変更による影響の概算額を調整している。なお、この影響の概算額は、売上原価+71億円、販売費及び一般管理費+221億円、研究開発費△292億円。

(注) 2. 2016年度に、従来、「その他の営業収益」に計上していた政府補助金について、対応する費用項目（「売上原価」、「販売費及び一般管理費」および「研究開発費」）から控除する方法へ変更しており、これに伴い、2015年度の政府補助金を組替えて表示している。この影響額は、2015年度年間で、売上原価△2億円、販売費及び一般管理費△0億円、研究開発費△35億円。

(注) 3. 2016年度より、従来、「研究開発費」に計上していた、企業買収や製品・パイプラインなどの導入により取得した無形資産の償却費及び減損損失を「製品に係る無形資産償却費及び減損損失」に計上している。これに伴い、2015年度の関連する研究開発費を組替えて表示している。この影響額は、2015年度年間で、研究開発費△66億円。

(注) 4. 効率的な事業運営体制の構築に向けた、従業員の削減や事業拠点の統廃合をはじめとする取り組みにかかる費用を事業構造再編費用として計上している。

## ◆連結純損益計算書等（四半期）

（億円）

	15年度				16年度							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
売上収益	4,463	4,578	4,892	4,141	4,340	△2.8%	4,168	△8.9%	4,650	△4.9%	4,162	0.5%
知的財産権収益・役務収益	159	154	145	106	124	△21.9%	167	8.5%	198	36.7%	112	5.0%
売上原価（注1）（注2）	1,211	1,363	1,450	1,328	1,354	11.8%	1,415	3.8%	1,475	1.7%	1,344	1.2%
<率>	<27.1%>	<29.8%>	<29.6%>	<32.1%>	<31.2%>		<33.9%>		<31.7%>		<32.3%>	
売上総利益	3,252	3,215	3,442	2,814	2,986	△8.2%	2,753	△14.4%	3,176	△7.7%	2,818	0.2%
<率>	<72.9%>	<70.2%>	<70.4%>	<67.9%>	<68.8%>		<66.1%>		<68.3%>		<67.7%>	
販売費及び一般管理費（注1）（注2）	1,617	1,518	1,620	1,752	1,450	△10.4%	1,460	△3.8%	1,484	△8.4%	1,797	2.5%
<率>	<36.2%>	<33.2%>	<33.1%>	<42.3%>	<33.4%>		<35.0%>		<31.9%>		<43.2%>	
販売費	1,154	1,100	1,106	1,245	1,009	△12.6%	1,011	△8.1%	1,034	△6.5%	1,210	△2.8%
一般管理費	463	418	514	507	440	△4.8%	449	7.5%	450	△12.6%	586	15.7%
研究開発費（注1）（注2）（注3）	798	784	892	883	765	△4.1%	754	△3.8%	718	△19.5%	885	0.2%
<率>	<17.9%>	<17.1%>	<18.2%>	<21.3%>	<17.6%>		<18.1%>		<15.4%>		<21.3%>	
製品に係る無形資産償却費及び減損損失（注3）	338	308	325	347	285	△15.7%	472	53.0%	265	△18.5%	546	57.4%
その他の営業収益	66	71	48	28	1,116	-	136	91.6%	45	△5.5%	138	-
その他の営業費用	70	66	82	226	73	4.6%	112	69.5%	200	144.3%	344	52.0%
営業利益	496	609	570	△367	1,529	-	91	△85.0%	554	△2.9%	△616	△68.0%
<率>	<11.1%>	<13.3%>	<11.7%>	<△8.9%>	<35.2%>		<2.2%>		<11.9%>		<△14.8%>	
金融収益	42	88	43	44	25	△40.4%	24	△72.2%	39	△10.7%	35	△20.1%
金融費用	58	165	83	14	54	△7.4%	57	△65.2%	59	△28.7%	62	-
持分法による投資損益	8	2	△5	△4	△4	-	△5	-	5	-	△12	-
税引前当期利益	487	533	526	△341	1,497	-	53	△90.0%	538	2.3%	△655	△92.2%
法人所得税費用	233	228	△78	△12	493	111.8%	△199	-	114	-	△130	-
当期利益	254	306	604	△329	1,003	-	253	△17.3%	424	△29.7%	△525	△59.7%
<率>	<5.7%>	<6.7%>	<12.3%>	<△7.9%>	<23.1%>		<6.1%>		<9.1%>		<△12.6%>	
親会社の所有者持分	246	298	593	△335	995	-	248	△16.9%	414	△30.2%	△507	△51.5%
<率>	<5.5%>	<6.5%>	<12.1%>	<△8.1%>	<22.9%>		<5.9%>		<8.9%>		<△12.2%>	
当期包括利益合計	1,204	△520	474	△1,554	△520	-	79	-	2,328	-	△955	38.5%
<率>	<27.0%>	<△11.4%>	<9.7%>	<△37.5%>	<△12.0%>		<1.9%>		<50.1%>		<△23.0%>	
親会社の所有者持分	1,193	△515	463	△1,544	△507	-	77	-	2,295	-	△929	39.8%
<率>	<26.7%>	<△11.2%>	<9.5%>	<△37.3%>	<△11.7%>		<1.8%>		<49.3%>		<△22.3%>	
実効税率												
国内の法定実効税率	33.0%	33.0%	33.0%	33.0%	30.8%		30.8%		30.8%		30.8%	
連結純損益計算書上の税率	47.8%	45.1%	24.7%	30.7%	33.0%		19.0%		19.5%		19.4%	

（注）1. 新組織体制への移行および管理計算制度の変更に伴い、15年度の表示科目の一部が変更されており、14年度においては当該表示科目変更による影響の概算額を調整している。なお、この影響の概算額は、売上原価＋71億円、販売費及び一般管理費＋221億円、研究開発費△292億円。

（注）2. 2016年度に、従来、「その他の営業収益」に計上していた政府補助金について、対応する費用項目（「売上原価」、「販売費及び一般管理費」、および「研究開発費」）から控除する方法へ変更しており、これに伴い、2015年度の政府補助金を組替えて表示している。この影響額は、2015年度年間で、売上原価△2億円、販売費及び一般管理費△0億円、研究開発費△35億円。

（注）3. 2016年度より、従来、「研究開発費」に計上していた、企業買収や製品・パイプラインなどの導入により取得した無形資産の償却費及び減損損失を「製品に係る無形資産償却費及び減損損失」に計上している。これに伴い、2015年度の関連する研究開発費を組替えて表示している。この影響は、2015年度年間で、研究開発費△66億円。

## 2. セグメント情報

	14年度	15年度	16年度	対前年同期		(億円)
						17年度 見込
売上収益	17,778	18,074	17,321	△753	△4.2%	16,800
医療用医薬品事業	16,145	16,487	15,689	△798	△4.8%	
コンシューマーヘルスケア事業	736	801	826	25	3.1%	
その他事業	897	786	806	20	2.5%	
営業利益	△1,293	1,308	1,559	250	19.1%	1,800
医療用医薬品事業	△1,789	1,028	1,284	255	24.8%	
<率>	<△11.1%>	<6.2%>	<8.2%>	<1.9pt>		
コンシューマーヘルスケア事業	172	189	205	16	8.6%	
<率>	<23.4%>	<23.6%>	<24.9%>	<1.3pt>		
その他事業	324	91	69	△21	△23.5%	
<率>	<36.2%>	<11.5%>	<8.6%>	<△2.9pt>		

## ◆セグメント情報（四半期）

(億円)

	15年度				16年度							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
売上収益	4,463	4,578	4,892	4,141	4,340	△2.8%	4,168	△8.9%	4,650	△4.9%	4,162	0.5%
医療用医薬品事業	4,078	4,177	4,465	3,766	3,940	△3.4%	3,756	△10.1%	4,210	△5.7%	3,781	0.4%
コンシューマーヘルスケア事業	194	215	229	163	204	4.9%	220	1.9%	231	1.0%	171	5.3%
その他事業	191	185	198	212	196	2.7%	192	3.9%	209	5.3%	209	△1.4%
営業利益	496	609	570	△367	1,529	-	91	△85.0%	554	△2.9%	△616	△68.0%
医療用医薬品事業	349	536	477	△334	1,422	-	41	△92.4%	463	△2.9%	△642	△92.5%
<率>	<8.5%>	<12.8%>	<10.7%>	<△8.9%>	<36.1%>		<1.1%>		<11.0%>		<△17.0%>	
コンシューマーヘルスケア事業	76	59	75	△21	74	△3.3%	47	△19.8%	69	△8.4%	16	-
<率>	<39.3%>	<27.2%>	<32.8%>	<△12.9%>	<36.2%>		<21.4%>		<29.8%>		<9.1%>	
その他事業	71	14	18	△12	33	△52.7%	4	△72.8%	21	20.2%	11	-
<率>	<37.1%>	<7.8%>	<8.9%>	<△5.6%>	<17.1%>		<2.0%>		<10.2%>		<5.2%>	

### 3. 地域別売上収益の状況

#### ◆連結売上収益（医療用医薬品+コンシューマーヘルスケア+その他）

（億円）

	14年度	15年度	16年度	対前年同期	
売上収益合計	17,778	18,074	17,321	△753	△4.2%
日本	7,128	6,881	6,553	△327	△4.8%
<売上収益比率>	<40.1%>	<38.1%>	<37.8%>	<△0.2pt>	
米国	4,261	5,144	5,202	57	1.1%
<同比率>	<24.0%>	<28.5%>	<30.0%>	<1.6pt>	
欧州およびカナダ	3,253	3,093	2,797	△296	△9.6%
<同比率>	<18.3%>	<17.1%>	<16.1%>	<△1.0pt>	
新興国	3,136	2,956	2,769	△187	△6.3%
<同比率>	<17.6%>	<16.4%>	<16.0%>	<△0.4pt>	
ロシア/CIS	813	618	575	△43	△6.9%
<同比率>	<4.6%>	<3.4%>	<3.3%>	<△0.1pt>	
中南米	854	684	725	41	6.0%
<同比率>	<4.8%>	<3.8%>	<4.2%>	<0.4pt>	
アジア	1,114	1,260	1,128	△132	△10.4%
<同比率>	<6.3%>	<7.0%>	<6.5%>	<△0.5pt>	
その他	355	394	340	△54	△13.8%
<同比率>	<2.0%>	<2.2%>	<2.0%>	<△0.2pt>	
うち知的財産権収益・役務収益	875	565	601	37	6.5%

（注1）売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

（注2）「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

#### ◆連結医療用医薬品売上収益

（億円）

	14年度	15年度	16年度	対前年同期		実質的な 成長率
医療用医薬品売上収益 合計	16,145	16,487	15,689	△798	△4.8%	7.3%
日本	5,613	5,417	5,047	△370	△6.8%	5.0%
米国	4,195	5,110	5,167	57	1.1%	12.8%
欧州およびカナダ	3,267	3,056	2,760	△296	△9.7%	4.7%
新興国	3,070	2,904	2,715	△189	△6.5%	4.5%
ロシア/CIS	812	618	575	△43	△6.9%	7.9%
ロシア	576	435	419	△16	△3.8%	7.3%
中南米	850	682	725	42	6.2%	10.7%
ブラジル	476	381	390	10	2.5%	6.7%
アジア	1,066	1,212	1,078	△134	△11.1%	2.0%
中国	552	660	576	△83	△12.6%	1.7%
その他	343	392	337	△55	△14.0%	△2.8%
うち知的財産権収益・役務収益	869	558	595	37	6.6%	△16.0%
日本	81	66	187	121	183.7%	△12.0%
海外	788	493	409	△84	△17.0%	△16.5%
海外医療用医薬品売上収益比率	65.2%	67.1%	67.8%	<0.7pt>		

（注1）売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

（注2）「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

◆連結売上収益（四半期：医療用医薬品+コンシューマーヘルスケア+その他事業）

（億円）

	15年度				16年度							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
売上収益合計	4,463	4,578	4,892	4,141	4,340	△2.8%	4,168	△8.9%	4,650	△4.9%	4,162	0.5%
日本	1,709	1,740	1,962	1,470	1,638	△4.2%	1,633	△6.1%	1,873	△4.6%	1,410	△4.1%
<売上収益比率>	<38.3%>	<38.0%>	<40.1%>	<35.5%>	<37.7%>		<39.2%>		<40.3%>		<33.9%>	
米国	1,239	1,253	1,336	1,316	1,305	5.3%	1,214	△3.1%	1,304	△2.3%	1,378	4.7%
<同比率>	<27.8%>	<27.4%>	<27.3%>	<31.8%>	<30.1%>		<29.1%>		<28.1%>		<33.1%>	
欧州およびカナダ	775	796	810	711	765	△1.3%	663	△16.7%	699	△13.8%	671	△5.7%
<同比率>	<17.4%>	<17.4%>	<16.6%>	<17.2%>	<17.6%>		<15.9%>		<15.0%>		<16.1%>	
新興国	740	788	784	644	633	△14.5%	657	△16.6%	775	△1.2%	704	9.3%
<同比率>	<16.6%>	<17.2%>	<16.0%>	<15.5%>	<14.6%>		<15.8%>		<16.7%>		<16.9%>	
ロシア/CIS	158	164	175	122	128	△18.8%	127	△22.4%	161	△8.2%	160	31.2%
<同比率>	<3.5%>	<3.6%>	<3.6%>	<2.9%>	<3.0%>		<3.0%>		<3.5%>		<3.8%>	
中南米	184	192	176	132	150	△18.9%	167	△12.9%	234	33.0%	175	32.4%
<同比率>	<4.1%>	<4.2%>	<3.6%>	<3.2%>	<3.4%>		<4.0%>		<5.0%>		<4.2%>	
アジア	309	320	334	297	275	△10.9%	280	△12.6%	307	△8.2%	267	△10.2%
<同比率>	<6.9%>	<7.0%>	<6.8%>	<7.2%>	<6.3%>		<6.7%>		<6.6%>		<6.4%>	
その他	89	113	99	93	80	△10.3%	84	△26.0%	74	△25.6%	103	10.2%
<同比率>	<2.0%>	<2.5%>	<2.0%>	<2.2%>	<1.8%>		<2.0%>		<1.6%>		<2.5%>	
うち知的財産権収益・役務収益	159	154	145	106	124	△21.9%	167	8.9%	198	36.2%	112	5.0%

（注1）売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

（注2）「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

◆連結医療用医薬品売上収益（四半期）

（億円）

	15年度				16年度							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
医療用医薬品売上収益 合計	4,078	4,177	4,465	3,766	3,940	△3.4%	3,756	△10.1%	4,210	△5.7%	3,781	0.4%
日本	1,350	1,370	1,564	1,133	1,267	△6.2%	1,251	△8.7%	1,465	△6.3%	1,064	△6.0%
米国	1,233	1,245	1,330	1,302	1,297	5.2%	1,206	△3.2%	1,297	△2.5%	1,367	5.0%
欧州およびカナダ	767	787	801	702	755	△1.5%	655	△16.7%	689	△14.0%	661	△5.8%
新興国	728	776	771	630	621	△14.7%	645	△16.8%	759	△1.4%	689	9.4%
ロシア/CIS	158	163	175	122	128	△18.8%	127	△22.4%	161	△8.2%	160	31.3%
ロシア	110	110	129	86	91	△17.3%	95	△13.6%	120	△7.2%	113	31.4%
中南米	184	192	174	132	150	△18.9%	167	△12.8%	234	33.9%	175	32.5%
ブラジル	101	89	102	89	81	△19.9%	99	11.1%	104	2.0%	106	20.0%
アジア	297	308	322	284	264	△11.1%	268	△13.2%	291	△9.6%	255	△10.4%
中国	141	157	199	162	139	△1.2%	147	△6.1%	161	△19.4%	129	△20.5%
その他	89	112	98	92	80	△10.4%	84	△25.7%	73	△25.2%	100	8.6%
うち知的財産権収益・役務収益	158	152	144	106	122	△22.3%	166	9.3%	196	36.9%	111	4.7%
日本	20	16	18	12	28	43.2%	95	-	42	139.3%	22	74.8%
海外	138	136	126	93	94	△31.6%	71	△47.6%	154	22.6%	89	△4.6%
海外医療用医薬品売上収益比率	66.9%	67.2%	65.0%	69.9%	67.9%		66.7%		65.2%		71.9%	

（注1）売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

（注2）「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。



## ◆医療用医薬品 グローバル主要品目売上高 (注1)

(億円)

		14年度	15年度	16年度	対前年同期		実質的な	17年度見込
		年間	年間	年間			成長率	(注4)
ベルケイド	米国	1,108	1,316	1,129	△188	△14.2%	△5.0%	
	米国以外	419	304	247	△57	△18.9%	△8.6%	
	合計	1,527	1,620	1,376	△245	△15.1%	△5.7%	◆◆◆
リュープロレリン	日本	576	538	486	△52	△9.7%	△9.7%	
	米国	159	173	183	11	6.1%	7.5%	
	欧州およびカナダ	364	353	311	△42	△11.9%	△1.4%	
	新興国	142	180	163	△18	△9.8%	0.9%	
	合計	1,240	1,244	1,142	△102	△8.2%	△3.6%	→
パントブラゾール	米国	110	136	101	△35	△26.0%	△19.2%	
	欧州およびカナダ	493	434	305	△129	△29.8%	△21.5%	
	新興国	434	437	337	△101	△23.0%	△9.4%	
	合計	1,037	1,008	742	△265	△26.3%	△16.1%	→
ランソプラゾール	日本 (注2)	525	413	81	△332	△80.4%	△4.0%	
	米国	287	275	200	△75	△27.2%	△19.4%	
	欧州およびカナダ	117	105	71	△34	△32.7%	△26.7%	
	新興国	101	102	92	△10	△9.4%	1.0%	
	合計	1,029	895	444	△451	△50.4%	△15.1%	◆◆◆
エンティビオ	米国	201	631	996	366	58.0%	74.4%	
	欧州およびカナダ	77	219	395	177	80.8%	102.7%	
	新興国	0	13	40	28	-	-	
	合計	278	862	1,432	570	66.2%	84.2%	◆◆◆
カンデサルタン	日本 (注2)	946	585	148	△437	△74.7%	△50.1%	
	米国	21	13	6	△7	△56.2%	△52.0%	
	欧州およびカナダ	177	125	93	△32	△25.5%	△17.4%	
	新興国	114	124	95	△30	△23.8%	△16.2%	
	合計	1,257	848	342	△506	△59.7%	△35.6%	◆◆◆
デクスラント	米国	535	640	497	△143	△22.4%	△13.8%	
	欧州およびカナダ	49	54	57	2	4.5%	16.3%	
	新興国	39	57	73	16	29.0%	49.5%	
	合計	623	751	626	△125	△16.6%	△6.8%	→
アジルバ	日本	454	590	669	79	13.3%	13.3%	
	合計	454	590	669	79	13.3%	13.3%	→
ネシーナ	日本	384	369	329	△40	△10.9%	△10.9%	
	米国	41	53	52	△0	△0.8%	10.4%	
	欧州およびカナダ	6	35	61	26	75.5%	100.1%	
	新興国	13	33	49	16	48.5%	61.8%	
	合計	443	489	491	2	0.4%	3.5%	→
コルクリス	米国	588	465	389	△76	△16.3%	△7.2%	
	合計	588	465	389	△76	△16.3%	△7.2%	◆
ユーロリック	米国	326	418	414	△4	△1.0%	9.7%	
	欧州およびカナダ	6	7	7	0	1.7%	13.4%	
	新興国	-	-	1	1	-	-	
	合計	332	425	422	△3	△0.7%	10.1%	→
アミティーザ	米国	319	372	337	△35	△9.3%	0.7%	
	欧州およびカナダ	0	1	1	△0	△17.6%	△0.2%	
	合計	320	373	338	△35	△9.3%	0.7%	→
アドセトリス	日本	28	31	33	2	5.2%	5.2%	
	欧州	163	174	175	1	0.6%	12.7%	
	新興国	36	72	93	21	29.6%	71.3%	
	合計	229	276	301	25	9.1%	24.8%	→
トリンテリックス (注3)	米国	136	245	319	74	30.1%	44.9%	
	合計	136	245	319	74	30.1%	44.9%	◆◆◆
タケキャブ	日本	32	84	341	257	-	-	
	合計	32	84	341	257	-	-	◆◆◆
ニンラーロ	米国	-	40	291	250	-	-	
	欧州およびカナダ	-	-	2	2	-	-	
	新興国	-	0	1	1	-	107.8%	
	合計	-	41	294	253	-	-	◆◆◆

(注1) 知的財産権収益および役務収益を含めて表示。

(注2) 単剤については2016年4月に、配合剤については2017年5月に、テバ社との合併会社に移管。

(注3) 「トリンテリックス」は、2016年6月より米国における製品名を「プリンテリックス」より変更して販売。

本剤の剤型、効能・効果、用法・用量に変更はない。

(注4) 17年度見込：16年度実績からの増減率（財務ベース）を矢印で表示。

→ ± <10%    ◆ +10%~20%    ◆◆ +20%~30%    ◆◆◆ +>30%    ◆ -10%~20%    ◆◆ -20%~30%    ◆◆◆ ->30%

◆医療用医薬品 グローバル主要品目売上高<sup>(注1)</sup> (四半期)

(億円)

		15年度			
		Q1	Q2	Q3	Q4
ベルケイド	米国	332	347	332	305
	米国以外	91	88	75	50
	合計	423	435	407	355
リュプロレリン	日本	133	140	148	116
	米国	47	40	44	42
	欧州およびカナダ	87	90	92	84
	新興国	41	45	50	44
	合計	309	315	334	286
パントプラゾール	米国	17	30	42	47
	欧州およびカナダ	118	118	112	85
	新興国	107	128	115	88
	合計	243	276	268	220
ランソプラゾール	日本 (注2)	110	108	112	82
	米国	91	59	68	58
	欧州およびカナダ	31	23	25	26
	新興国	27	26	24	25
	合計	259	216	228	191
エンティビオ	米国	120	152	167	191
	欧州およびカナダ	39	43	62	74
	新興国	2	3	4	4
	合計	162	198	234	268
カンデサルタン	日本 (注2)	161	152	160	112
	米国	3	3	3	3
	欧州およびカナダ	32	32	32	29
	新興国	31	32	28	32
	合計	227	220	224	177
デクスラント	米国	163	138	183	156
	欧州およびカナダ	13	12	15	14
	新興国	12	16	14	15
	合計	188	166	212	185
アジルバ	日本	141	145	167	137
	合計	141	145	167	137
ネシーナ	日本	95	95	101	77
	米国	15	15	14	9
	欧州およびカナダ	5	7	12	11
	新興国	7	8	8	10
	合計	122	125	136	106
コルクリス	米国	112	117	113	123
	合計	112	117	113	123
ユーロリック	米国	98	101	113	107
	欧州およびカナダ	2	2	2	1
	新興国	-	-	-	-
	合計	100	102	115	108
アミティーザ	米国	94	97	98	82
	欧州およびカナダ	0	0	0	0
	合計	94	98	98	83
アドセトリス	日本	8	8	8	7
	欧州	43	47	42	41
	新興国	17	21	18	15
	合計	68	76	69	63
トリンテリックス (注3)	米国	50	62	68	65
	合計	50	62	68	65
タケキャブ	日本	5	15	22	42
	合計	5	15	22	42
ニンラーロ	米国	-	-	5	35
	欧州およびカナダ	-	-	-	-
	新興国	-	-	-	-
	合計	-	-	5	35

(注1) 知的財産権収益および役員収益を含めて表示。

(注2) 単剤については2016年4月に、配合剤については2017年5月に、テバ社との合併会社に移管。

(注3) 「トリンテリックス」は、2016年6月より米国における製品名を「プリンテリックス」より変更して販売。

本剤の剤型、効能・効果、用法・用量に変更はなし。

(億円)

		16年度							
		Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
ベルケイド	米国	289	△13.2%	267	△23.0%	274	△17.4%	299	△2.0%
	米国以外	67	△26.1%	71	△19.6%	68	△9.2%	40	△19.2%
	合計	355	△15.9%	338	△22.3%	342	△15.9%	340	△4.4%
リユープロレリン	日本	131	△2.0%	117	△16.7%	136	△8.5%	102	△11.8%
	米国	57	20.4%	38	△3.2%	49	11.7%	39	△7.0%
	欧州およびカナダ	83	△4.9%	78	△13.9%	70	△23.6%	80	△4.3%
	新興国	38	△9.1%	42	△6.2%	44	△12.0%	39	△11.4%
	合計	308	△0.4%	275	△12.7%	299	△10.5%	261	△8.8%
パントブラゾール	米国	34	94.8%	20	△34.7%	23	△44.1%	24	△49.0%
	欧州およびカナダ	86	△27.0%	72	△39.4%	78	△29.9%	68	△20.3%
	新興国	80	△24.9%	91	△28.6%	82	△28.4%	83	△5.6%
	合計	201	△17.3%	183	△33.9%	184	△31.4%	175	△20.6%
ランソプラゾール	日本 (注2)	21	△80.8%	20	△81.4%	21	△81.1%	18	△77.9%
	米国	66	△27.3%	42	△28.8%	48	△29.3%	44	△23.1%
	欧州およびカナダ	23	△28.1%	15	△32.9%	17	△31.9%	16	△38.7%
	新興国	24	△11.0%	22	△14.2%	24	△1.5%	22	△10.4%
	合計	134	△48.4%	100	△53.9%	110	△52.0%	101	△47.2%
エンティビオ	米国	225	87.2%	232	52.5%	257	53.5%	283	48.0%
	欧州およびカナダ	88	124.4%	93	113.6%	107	72.4%	107	45.3%
	新興国	8	-	9	-	10	148.9%	15	-
	合計	320	98.2%	333	68.2%	374	60.2%	404	50.6%
カンデサルタン	日本 (注2)	48	△69.8%	37	△75.5%	36	△77.4%	26	△76.9%
	米国	2	△22.5%	1	△83.1%	2	△39.8%	1	△74.9%
	欧州およびカナダ	30	△7.0%	18	△42.2%	26	△18.3%	19	△35.1%
	新興国	32	2.1%	19	△41.5%	24	△14.8%	20	△38.7%
	合計	113	△50.4%	75	△65.8%	88	△60.6%	66	△63.0%
デクスラント	米国	130	△20.2%	124	△10.1%	123	△32.8%	120	△23.4%
	欧州およびカナダ	15	10.9%	13	7.4%	15	△0.3%	14	1.0%
	新興国	16	38.9%	16	1.7%	18	26.9%	23	51.7%
	合計	162	△14.3%	153	△7.7%	156	△26.5%	156	△15.5%
アジルバ	日本	177	25.6%	156	7.6%	185	11.2%	150	9.3%
	合計	177	25.6%	156	7.6%	185	11.2%	150	9.3%
ネシーナ	日本	93	△1.6%	77	△18.9%	92	△9.3%	66	△14.3%
	米国	15	3.0%	12	△15.3%	11	△22.0%	14	49.7%
	欧州およびカナダ	15	-	14	96.2%	15	24.5%	17	61.5%
	新興国	10	35.1%	13	68.2%	11	37.9%	15	52.2%
	合計	133	9.5%	116	△6.6%	130	△4.7%	112	4.8%
コルクリス	米国	105	△5.9%	97	△17.6%	93	△17.4%	94	△23.4%
	合計	105	△5.9%	97	△17.6%	93	△17.4%	94	△23.4%
ユーロリック	米国	95	△2.7%	96	△4.8%	113	0.5%	110	2.8%
	欧州およびカナダ	2	4.7%	2	△2.4%	2	△9.3%	2	17.6%
	新興国	0	-	0	-	0	-	0	-
	合計	97	△2.4%	98	△4.6%	116	0.6%	112	3.3%
アミティーザ	米国	89	△5.6%	80	△18.1%	93	△5.2%	76	△8.1%
	欧州およびカナダ	0	△18.7%	0	△25.8%	0	△18.5%	0	△4.8%
	合計	89	△5.7%	80	△18.1%	93	△5.2%	76	△8.0%
アドセトリス	日本	9	9.1%	7	△9.3%	9	14.0%	8	6.9%
	欧州	50	17.4%	38	△19.4%	42	△1.5%	44	8.0%
	新興国	19	8.7%	21	△1.3%	23	29.1%	30	96.2%
	合計	78	14.3%	66	△13.3%	74	8.4%	83	31.7%
トリンテリックス (注3)	米国	64	27.6%	78	25.9%	85	25.3%	91	41.2%
	合計	64	27.6%	78	25.9%	85	25.3%	91	41.2%
タケキャブ	日本	64	-	75	-	108	-	95	126.9%
	合計	64	-	75	-	108	-	95	126.9%
ニンラーロ	米国	60	-	68	-	80	-	83	138.2%
	欧州およびカナダ	-	-	-	-	0	-	2	-
	新興国	0	-	0	-	0	-	0	-
	合計	60	-	68	-	80	-	86	146.2%

(注1) 知的財産権収益および役員収益を含めて表示。

(注2) 単剤については2016年4月に、配合剤については2017年5月に、テバ社との合併会社に移管。

(注3) 「トリンテリックス」は、2016年6月より米国における製品名を「プリンテリックス」より変更して販売。

本剤の剤型、効能・効果、用法・用量に変更はなし。

◆ 医療用医薬品 米国主要品目売上高（現地通貨ベース）<sup>(注1)</sup> (百万米ドル)

	14年度	15年度	16年度	対前年同期	
ベルケイド	1,017	1,079	1,000	△80	△7.4%
エンティビオ	179	524	913	389	74.4%
デクスラント	488	530	457	△73	△13.8%
ユーロリック	297	347	380	34	9.7%
コルクリス	542	386	358	△28	△7.2%
アミティーザ	291	308	310	2	0.7%
トリンテリックス <sup>(注2)</sup>	124	203	294	91	44.9%
ニンラーロ	-	34	267	233	-
プレバシド (ランソプラゾール)	254	222	179	△43	△19.6%
コントレイブ <sup>(注3)</sup>	19	56	24	△32	△57.0%

(注1) 知的財産権収益および役務収益を除いた製品売上高を表示。

(注2) 「トリンテリックス」は2016年6月より米国における製品名を「プリンテリックス」より変更して販売。  
本剤の剤型、効能・効果、用法・用量に変更はない。

(注3) 2016年3月、本剤に関するOrexigen社との提携解消を発表。

◆ 医療用医薬品 米国主要品目売上高（現地通貨ベース）<sup>（注1）</sup>（四半期）

（百万米ドル）

	15年度				16年度							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
ベルケイド	276	268	266	270	247	△10.6%	250	△6.7%	253	△4.7%	250	△7.4%
エンティビオ	99	124	138	163	201	103.4%	224	80.3%	241	75.1%	247	51.6%
デクスラント	135	113	151	132	117	△13.3%	120	6.5%	116	△22.9%	104	△21.2%
ユーロリック	81	82	93	91	85	5.6%	92	12.8%	107	14.8%	95	5.3%
コルクリス	92	95	93	105	94	2.1%	93	△2.4%	88	△5.3%	83	△21.4%
アミティーザ	77	79	81	70	79	2.5%	77	△2.9%	87	7.8%	66	△5.5%
トリンテリックス <sup>（注2）</sup>	42	50	56	55	58	38.2%	75	49.1%	81	44.5%	80	46.3%
ニンラーロ	-	-	4	30	54	-	65	-	75	-	73	143.6%
プレバシド （ランソプラゾール）	73	47	55	48	57	△20.9%	40	△15.3%	44	△19.1%	37	△22.2%
コントレイブ <sup>（注3）</sup>	16	13	13	13	13	△21.6%	8	△36.2%	3	△75.5%	△0	-

（注1） 知的財産権収益および役務収益を除いた製品売上高を表示。

（注2） 「トリンテリックス」は2016年6月より米国における製品名を「プリンテリックス」より変更して販売している。本剤の剤型、効能・効果、用法・用量に変更はない。

（注3） 2016年3月、本剤に関するOrexigen社との提携解消を発表。

## ◆ 医療用医薬品 国内主要品目売上高

(億円)

	発売年月	薬効区分	14年度	15年度	16年度	対前年同期	
アジルバ <sup>(注)</sup>	(12. 5)	高血圧症治療剤	454	590	669	79	13.3%
リュープリン (リュープロレリン)	(92. 9)	前立腺がん・乳がん・ 子宮内膜症治療剤	576	538	486	△52	△9.7%
エンブレル	(05. 3)	抗リウマチ剤	412	408	404	△4	△0.9%
タケキャブ <sup>(注)</sup>	(15. 2)	酸関連疾患 治療剤	32	84	341	257	-
ネシーナ <sup>(注)</sup>	(10. 6)	糖尿病治療剤	384	369	329	△40	△10.9%
ロトリガ	(13. 1)	高脂血症治療剤	132	223	275	52	23.5%
ベクティビックス	(10. 6)	直腸・結腸がん 治療剤	183	184	188	4	2.1%
レミニール	(11. 3)	アルツハイマー型 認知症治療剤	139	160	174	14	8.8%
ベネット	(02. 5)	骨粗鬆症治療剤	104	97	83	△14	△14.2%
ロゼレム	(10. 7)	不眠症治療剤	66	74	81	6	8.7%
アドセトリス	(14. 4)	悪性リンパ腫 治療剤	28	31	33	2	5.2%

(注) 配合剤、パック製剤を含む。

◆ 医療用医薬品 国内主要品目売上高（四半期）

（億円）

発売年月	薬効区分	15年度				16年度								
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY	
アジルバ <sup>(注)</sup>	(12. 5)	高血圧症治療剤	141	145	167	137	177	25.6%	156	7.6%	185	11.2%	150	9.3%
リュープリン (リュープロレリン)	(92. 9)	前立腺がん・乳がん・ 子宮内膜症治療剤	133	140	148	116	131	△2.0%	117	△16.7%	136	△8.5%	102	△11.8%
エンブレル	(05. 3)	抗リウマチ剤	104	107	108	89	110	5.9%	100	△6.6%	109	0.3%	86	△3.3%
タケキャブ <sup>(注)</sup>	(15. 2)	酸関連疾患 治療剤	5	15	22	42	64	-	75	-	108	-	95	126.9%
ネシーナ <sup>(注)</sup>	(10. 6)	糖尿病治療剤	95	95	101	77	93	△1.6%	77	△18.9%	92	△9.3%	66	△14.3%
ロトリガ	(13. 1)	高脂血症治療剤	50	56	63	54	68	36.8%	66	18.4%	78	22.9%	63	17.3%
ベクティビックス	(10. 6)	直腸・結腸がん 治療剤	47	48	48	41	49	5.1%	46	△4.2%	51	6.5%	42	0.9%
レミニール	(11. 3)	アルツハイマー型 認知症治療剤	39	41	45	35	46	19.3%	41	1.3%	48	8.4%	38	6.5%
ベネット	(02. 5)	骨粗鬆症治療剤	25	25	27	20	23	△6.4%	20	△21.6%	23	△14.3%	17	△14.6%
ロゼレム	(10. 7)	不眠症治療剤	18	19	20	17	21	17.8%	19	△1.4%	22	10.8%	18	8.0%
アドセトリス	(14. 4)	悪性リンパ腫 治療剤	8	8	8	7	9	9.1%	7	△9.3%	9	14.0%	8	6.9%

(注) 配合剤、パック製剤を含む。

## ◆ 一般用医薬品 国内主要品目売上高

(億円)

	14年度	15年度	16年度	対前年同期	
アリナミン錠剤類	207	252	241	△12	△4.6%
アリナミンドリンク類	149	149	161	12	8.0%
ベンザ類	97	98	100	1	1.5%
ビオフェルミン類	81	86	91	5	6.2%
ボラギノール類	41	45	45	1	1.2%

(注) 当社ジャパンコンシューマーヘルスケアビジネスユニット事業の国内売上高

2017年4月1日より、武田コンシューマーヘルスケア株式会社がJCHBU事業を継承し、新会社として事業を開始。



◆ 一般用医薬品 国内主要品目売上高（四半期）

（億円）

	15年度				16年度							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
アリナミン錠剤類	69	62	74	47	61	△11.8%	62	0.7%	68	△8.5%	49	4.9%
アリナミンドリンク類	40	41	43	25	51	27.3%	40	△2.6%	42	△2.2%	28	11.8%
ベンザ類	12	44	30	13	13	8.3%	42	△4.9%	32	6.9%	14	4.4%
ビオフェルミン類	22	21	24	18	22	△0.2%	23	10.1%	26	6.8%	20	9.0%
ボラギノール類	11	10	14	10	11	3.0%	11	3.7%	13	△1.9%	10	0.8%

（注）当社ジャパンコンシューマーヘルスケアビジネスユニット事業の国内売上高

2017年4月1日より、武田コンシューマーヘルスケア株式会社がJCHBU事業を継承し、新会社として事業を開始。

#### 4. 連結財務状態計算書

<資産>

(億円)

	14年度末	15年度末	16年度末	構成比	対15年度末
非流動資産	27,761	24,503	30,951	71.1%	6,448
有形固定資産	5,262	5,519	5,302	12.2%	△218
取得原価	11,771	12,238	11,378		△861
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,509	△6,719	△6,076		643
のれん	8,219	7,793	10,227	23.5%	2,434
無形資産	9,394	7,431	10,658	24.5%	3,227
投資不動産	302	266	95	0.2%	△171
持分法で会計処理されている投資	104	100	1,264	2.9%	1,164
その他の金融資産	2,413	1,495	1,766	4.1%	271
売却可能金融資産	1,597	1,321	1,645		324
その他の非流動資産	522	190	449	1.0%	259
前払年金費用	490	169	396		228
繰延税金資産	1,545	1,708	1,190	2.7%	△518
流動資産	15,201	13,738	12,607	28.9%	△1,131
棚卸資産	2,624	2,540	2,263	5.2%	△277
売上債権及びその他の債権	4,447	4,154	4,234	9.7%	80
その他の金融資産	613	1,086	567	1.3%	△519
未収法人所得税等	221	152	214	0.5%	62
その他の流動資産	632	641	751	1.7%	110
現金及び現金同等物	6,521	4,514	3,195	7.3%	△1,320
売却目的で保有する資産	142	650	1,383	3.2%	733
資産合計	42,962	38,241	43,558	100.0%	5,317

<負債及び資本>

(億円)

	14年度末	15年度末	16年度末	構成比	対15年度末
負債合計	20,900	18,129	24,068	55.3%	5,939
非流動負債	10,732	9,557	10,407	23.9%	851
社債	4,194	1,798	1,199	2.8%	△599
長期借入金	2,100	3,600	4,800	11.0%	1,200
その他の金融負債	701	1,021	289	0.7%	△732
退職給付に係る負債	917	849	809	1.9%	△40
引当金	471	344	356	0.8%	12
その他の非流動負債	788	710	774	1.8%	64
繰延税金負債	1,561	1,235	1,652	3.8%	417
流動負債	10,168	8,572	13,661	31.4%	5,089
社債	700	2,285	600	1.4%	△1,685
短期借入金	300	-	4,851	11.1%	4,851
仕入債務及びその他の債務	1,708	1,911	2,406	5.5%	495
その他の金融負債	421	372	289	0.7%	△83
未払法人所得税	411	431	706	1.6%	275
引当金	4,186	1,153	1,358	3.1%	205
その他の流動負債	2,385	2,269	2,565	5.9%	296
売却目的で保有する資産に係る負債	58	151	887	2.0%	735
資本合計	22,062	20,112	19,490	44.7%	△622
資本金	640	648	652		4
資本剰余金	596	688	750		61
自己株式	△182	△360	△487		△128
利益剰余金	16,013	15,231	15,118		△113
その他の資本の構成要素	4,303	3,279	2,910		△369
親会社の所有者に帰属する持分	21,370	19,487	18,943		△544
非支配持分	691	625	547		△78
負債及び資本合計	42,962	38,241	43,558	100.0%	5,317

## 5. 連結キャッシュフロー計算書

(億円)

	14年度	15年度	16年度	対前年
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,825	255	2,614	2,359
投資活動によるキャッシュ・フロー	913	△712	△6,557	△5,845
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,010	△1,248	2,899	4,147
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△271	△1,706	△1,044	661
現金及び現金同等物期首残高	6,660	6,552	4,514	△2,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	163	△333	△57	275
売却目的で保有する資産への振替に伴う 現金及び現金同等物の増減額	-	-	△218	△218
現金及び現金同等物期末残高	6,552	4,514	3,195	△1,320

## 6. 資本的支出、減価償却費及び償却費、減損損失

(億円)

	14年度	15年度	16年度	対前年	
資本的支出	1,016	1,368	1,481	113	8.3%
有形固定資産の増加額*	537	940	724	△216	△23.0%
無形資産の増加額	479	428	757	329	76.8%
*企業買収に伴う増加額は含まない。					
減価償却費及び償却費	1,916	1,812	1,705	△107	△5.9%
有形固定資産の減価償却費*	587	529	514	△15	△2.8%
無形資産の償却費	1,329	1,283	1,191	△92	△7.2%
うち、製品に係る償却費	1,232	1,218	1,125	△93	△7.7%
*投資不動産に係る減価償却費は含まない。					
減損損失	684	152	514	362	-
うち、製品に係る減損損失	532	100	443	343	-
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	1,764	* 1,318	1,567	249	18.9%

\* 16年度より、これまで「研究開発費」に含めていた研究開発関連の無形資産（パイプラインや基盤技術）に係る償却費及び減損損失を組み替え、「製品等に係る無形資産償却費及び減損損失」の勘定科目名称で表示。なお、15年度の当該組替影響額は66億円であり、「製品等に係る無形資産償却費及び減損損失」に相当する15年度実績は1,318億円。

## 7. 人員の状況

	14年度末	15年度末	16年度末	構成比	対前年度末
連結人員 合計 ①+②	31,328	31,168	29,900	100.0%	△1,268
(うち海外)	(21,716)	(21,877)	(20,774)	(69.5%)	(△1,103)
医療用医薬品事業	28,761	28,762	27,534	92.1%	△1,227
コンシューマーヘルスケア事業	457	500	520	1.7%	20
その他事業	2,110	1,906	1,846	6.2%	△61
武田薬品単体（就業人員）①	6,780	6,780	6,638	22.2%	△142
連結子会社②	24,548	24,388	23,262	77.8%	△1,126

(注) 工数換算ベースの就業人員数である。

## 8. 株主の状況

### 【所有者別】

		14年度末	15年度末	16年度末	対15年度末
国内機関投資家	株主数 (名)	277	291	298	7
	株式数 (千株)	235,524	252,537	263,866	11,329
	構成比 (%)	29.82	31.96	33.38	1.42
国内証券会社	株主数 (名)	47	64	52	△12
	株式数 (千株)	41,794	38,448	33,348	△5,100
	構成比 (%)	5.29	4.87	4.22	△0.65
国内事業会社	株主数 (名)	1,567	1,515	1,621	106
	株式数 (千株)	41,751	41,133	40,267	△866
	構成比 (%)	5.29	5.20	5.09	△0.11
海外機関投資家等	株主数 (名)	891	876	945	69
	株式数 (千株)	255,976	248,822	231,977	△16,845
	構成比 (%)	32.40	31.49	29.34	△2.14
国内個人投資家等	株主数 (名)	266,344	262,674	284,103	21,429
	株式数 (千株)	214,742	209,197	220,910	11,713
	構成比 (%)	27.18	26.47	27.94	1.47
武田薬品	株式数 (千株)	138	147	152	5
	構成比 (%)	0.02	0.02	0.02	0.00

### 【所有株数別】

		14年度末	15年度末	16年度末	対15年度末
500万株以上	株主数 (名)	25	24	24	0
	株式数 (千株)	311,874	333,589	348,925	15,335
	構成比 (%)	39.48	42.21	44.14	1.93
100万株以上	株主数 (名)	82	79	71	△8
	株式数 (千株)	190,704	182,566	156,569	△25,996
	構成比 (%)	24.14	23.10	19.81	△3.30
10万株以上	株主数 (名)	280	266	254	△12
	株式数 (千株)	88,306	79,611	76,432	△3,179
	構成比 (%)	11.18	10.07	9.67	△0.41
1万株以上	株主数 (名)	2,126	2,091	2,263	172
	株式数 (千株)	44,904	43,975	48,215	4,241
	構成比 (%)	5.70	5.56	6.10	0.53
1000株以上	株主数 (名)	52,696	51,050	53,799	2,749
	株式数 (千株)	106,438	103,367	108,697	5,329
	構成比 (%)	13.48	13.08	13.75	0.67
100株以上	株主数 (名)	205,140	203,532	222,354	18,822
	株式数 (千株)	47,466	46,955	51,464	4,509
	構成比 (%)	6.01	5.94	6.51	0.57
100株未満	株主数 (名)	8,778	8,379	8,255	△124
	株式数 (千株)	231	221	219	△2
	構成比 (%)	0.03	0.03	0.03	△0.00
合計	株主数 (名)	269,127	265,421	287,020	21,599
	株式数 (千株)	789,924	790,284	790,521	237

### 【大株主の状況】

順位	株主名	16年度末 構成比		対15年度末増減	
		千株	%	千株	(前期順位)
1	日本生命保険 (相)	50,760	6.42	-	(1)
2	日本マスタートラスト信託銀行 (株)(信託口)	42,077	5.32	5,770	(2)
3	日本トラスティ・サービス信託銀行 (株)(信託口)	36,528	4.62	3,305	(3)
4	JP MORGAN CHASE BANK 380055	34,039	4.31	3,368	(4)
5	公益財団法人武田科学振興財団	17,912	2.27	-	(5)
6	バーkleイブ証券株式会社	15,000	1.90	-	(6)
7	日本トラスティ・サービス信託銀行 (株)(信託口5)	14,427	1.82	5,880	(13)
8	STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	11,672	1.48	△2,069	(7)
9	日本トラスティ・サービス信託銀行 (株)(信託口1)	10,728	1.36	2,229	(14)
10	日本トラスティ・サービス信託銀行 (株)(信託口7)	10,719	1.36	△184	(9)

## 9. 為替レート

【為替レート】(円)	14年度 年間	15年度 年間	16年度 年間	17年度 公表予想レート
ドル 平均レート	109	121	109	110
ユーロ 平均レート	139	132	120	120
ループル 平均レート	2.6	1.9	1.7	1.9
人民元 平均レート	17.6	19.0	16.2	16.6
リアル 平均レート	45.3	34.1	32.9	36.4



## 10. 主要な経営指標

	14年度	15年度	16年度
<b>【成長性】</b>			
売上伸長率 (%)	5.1	1.7	△4.2
営業利益伸長率 (%)	-	-	19.1
当期利益伸長率 (%) (注1)	-	-	43.4
<b>【収益性】</b>			
売上総利益率 (%) (注2)	70.3	70.4	67.7
売上営業利益率 (%)	△7.3	7.2	9.0
売上当期利益率 (%) (注1)	△8.2	4.4	6.6
総資産当期利益率 (%) (注1)	△3.3	2.0	2.8
親会社所有者帰属持分当期利益率 (ROE、%)	△6.3	3.9	6.0
<b>【安定性】</b>			
親会社所有者帰属持分比率 (%)	49.7	51.0	43.5
流動比率 (%)	149.5	160.3	92.3
非流動資産対長期資本比率 (%) (注1)	86.5	84.4	105.5
<b>【効率性】</b>			
総資本回転率 (回)	0.41	0.47	0.40
固定資産回転率 (回)	0.64	0.74	0.56
売上債権回転率 (回) (注3)	4.40	4.69	4.73
<b>【その他】</b>			
研究開発費比率 (%) (注2) (注4) (注5)	19.9	18.6	18.0
1株当たり親会社所有者帰属持分 (円)	2,719	2,487	2,426
基本的1株当たり当期利益 (EPS、円) (注1)	△185.37	102.26	147.15
EPS成長率 (%)	-	△155.2	43.9
1株当たり配当金	180.0	180.0	180.0
配当性向 (%)	-	176.0	122.3
親会社所有者帰属持分配当率 (DOE、%)	6.2	6.9	7.3
期末株価 (円)	5,999	5,136	5,229
株式時価総額 (億円)	47,388	40,589	41,336

(注1) 指標は親会社の所有者に帰属する金額を用いて算定している。

(注2) 新組織体制への移行および管理計算制度の変更に伴い、15年度の表示科目の一部が変更されており、14年度については当該表示科目変更による影響の概算額を調整している。

(注3) 売上債権回転率については、期末休日要因を排除している。

(注4) 2016年度に、従来「その他の営業利益」に計上していた政府補助金について、対応する費用項目（「売上原価」、「販売費及び一般管理費」および「研究開発費」）から控除する方法へ変更しており、これに伴い、2015年度の政府補助金を組替えている。

(注5) 2016年度より、従来「研究開発費」に計上していた、企業買収や製品・パイプラインなどの導入により取得した無形資産の償却費および減損損失を「製品に係る無形資産償却費及び減損損失」に計上しており、2015年度の関連する研究開発費を組替えている。

## II. パイプラインの状況

### 1. 開発の状況

この表では当社が明確に効能取得をターゲットとしている主な効能を掲載しています。これらの効能以外においても、将来の効能・剤型追加の可能性を検討するために臨床試験を行っています。この表では日・米・欧に限って開示していますが、新興国を含め、他の地域においても開発を行っています。

#### ■ がん領域

開発コード ＜一般名＞ 製品名	薬効（投与経路）	適応症／剤型追加	開発段階
MLN9708 ＜ixazomib＞ ニラーロ® (米国、欧州、日本)	プロテアソーム阻害薬（経口剤）	再発・難治性の多発性骨髄腫	欧州 承認（16/11） 日本 承認（17/3）
		初発の多発性骨髄腫	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III
		自家造血幹細胞移植後の初発の多発性骨髄腫の維持療法	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III
		自家造血幹細胞移植未実施の初発の多発性骨髄腫の維持療法	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III
		再発・難治性の原発性 AL アミロイドーシス	米国 P-III 欧州 P-III
		固形がん	米国 P-I
SGN-35 ＜brentuximab vedotin＞ アドセトリス®（欧州、日本）	CD30 モノクローナル抗体薬物複合体（注射剤）	自家造血幹細胞移植後のホジキンリンパ腫	欧州 承認（16/7）
		再発性皮膚 T 細胞性リンパ腫	欧州 申請（17/4）
		ホジキンリンパ腫（フロントライン適応）	欧州 P-III 日本 P-III
		成熟型 T 細胞性リンパ腫（フロントライン適応）	欧州 P-III 日本 P-III
＜brigatinib＞ ALUNBRIG™（米国）	ALK 阻害薬（経口剤）	クリゾチニブ投与中に進行した、あるいはクリゾチニブ不認容の ALK 陽性転移性非小細胞肺癌（米国で承認された適応症）	米国 承認（17/4） 欧州 申請（17/2）
		ALK 陽性非小細胞肺癌（フロントライン適応）	米国 P-III 欧州 P-III
		ROS 1 陽性非小細胞肺癌	— P-I
＜ponatinib＞ ICLUSIG®（米国）	BCR-ABL 阻害薬（経口剤）	イマチニブ耐性慢性骨髄性白血病	米国 P-III
		慢性骨髄性白血病の患者を対象とする用量設定試験	米国 P-II
		フィラデルフィア染色体陽性の急性リンパ性白血病	— P-II
TAK-385 ＜relugolix＞	LH-RH アンタゴニスト（経口剤）	前立腺がん	日本 P-III
TAK-228 ＜sapanisertib＞	mTORC1/2 阻害薬（経口剤）	乳がん	米国 P-II b 欧州 P-II b
		腎がん	米国 P-II b
		子宮内膜がん	米国 P-II b
TAK-924 ＜pevonedistat＞	NEDD8 活性化酵素阻害薬（注射剤）	高リスク骨髄異形成症候群	米国 P-II a 欧州 P-II a
TAK-202 ＜plozalizumab＞	CCR2 アンタゴニスト（注射剤）	固形がん	— P-I
TAK-243 ＜ - ＞	ユビキチン活性化酵素阻害薬（注射剤）	固形がん	— P-I
TAK-580 ＜ - ＞	pan-Raf キナーゼ阻害薬（経口剤）	固形がん	— P-I
TAK-659 ＜ - ＞	SYK/FLT3 キナーゼ阻害薬（経口剤）	固形がん、血液がん	— P-I
TAK-788 <sup>*1</sup> ＜ - ＞	EGFR/HER2 阻害薬（経口剤）	非小細胞肺癌	— P-I
TAK-931 ＜ - ＞	CDC 7 阻害薬（経口剤）	固形がん	— P-I
XMT-1522 <sup>*2</sup> ＜ - ＞	HER2 dolaflexin 抗体薬物複合体（注射剤）	HER2 陽性の固形がん	— P-I
＜cabozantinib＞	マルチターゲットキナーゼ阻害薬（経口剤）	固形がん	日本 P-I

\*1 旧名：AP32788

\*2 当社と Mersana 社は XMT-1522 を共同開発するが、臨床第 1 相試験については Mersana 社が実施する。

## ■ 消化器系疾患領域

開発コード ＜一般名＞ 製品名	薬効（投与経路）	適応症／剤型追加	開発段階	
<b>TAK-390MR</b> ＜dexlansoprazole＞ DEXILANT®（米国、欧州）	プロトンポンプ阻害薬（経口剤）	青年期酸関連疾患	米国 欧州	承認（16/7） 承認（16/5）
<b>Cx601</b> ＜ - ＞	同種異系脂肪由来幹細胞懸濁剤（注射剤）	クローン病に伴う肛門複雑瘻孔	欧州	申請（16/3）
<b>MLN0002</b> ＜vedolizumab＞ ENTYVIO®（米国、欧州）	ヒト化抗α4β7 インテグリン モノクローナル抗体（注射剤）	潰瘍性大腸炎	日本	P - III
		クローン病	日本	P - III
		皮下投与製剤（潰瘍性大腸炎、クローン病）	米国 欧州 日本	P - III P - III P - III
		同種造血幹細胞移植を受けている患者における移植片対宿主病の予防	米国	P - I
<b>SPI-0211</b> ＜lubiprostone＞ AMITIZA®（米国）	クロライドチャネル開口薬（経口剤）	新規剤型（CIC、OIC）*3	米国	P - III
		小児機能性便秘症	米国	P - III
<b>TAK-438</b> ＜vonoprazan＞ タケキャブ®（日本）	カリウムイオン競合型アシッド プロトカー（経口剤）	非びらん性胃食道逆流症	日本	P - III
		プロトンポンプ阻害薬による治療で効果が不十分な患者における逆流性食道炎	—	P - II b
<b>TAK-906</b> *4 ＜ - ＞	ドパミン D2/D3 受容体アンタゴニスト（経口剤）	胃不全麻痺	—	P - I
<b>TAK-954</b> *5 ＜ - ＞	5-HT4 受容体アゴニスト（注射剤）	経腸栄養不耐性	—	P - I

\*3 CIC：慢性特発性便秘症、OIC：オピオイド誘発性便秘症  
本剤型についてはまず、CIC、OIC の効能で開発を行う。

\*4 旧名：ATC 1906。2017年3月、当社は Altos 社を買収するオプション権を行使した。

\*5 旧名：TD 8954。これまでは P - I / II として開示していたが、パイプライン表の記載ルールの明確化に伴い、P - I に修正。TAK-954 の P - I 試験は終了したが、P - II 試験の被験者登録はまだ行っていない。

## ■ 中枢神経系疾患領域

開発コード ＜一般名＞ 製品名	薬効（投与経路）	適応症／剤型追加	開発段階	
<b>Lu AA21004</b> ＜vortioxetine＞ TRINTELLIX®（米国）	多重作用メカニズム抗うつ薬（経口剤）	成人の大うつ病患者における認知機能への効果に関する臨床成績を添付文書に追記	米国	FDA Complete Response Letter 受領（16/3）
		大うつ病	日本	P - III
		成人における注意欠陥多動性障害	米国	P - II a
<b>AD-4833/TOMM40</b>	ミトコンドリア成長調節薬（経口剤）／ バイオマーカー	アルツハイマー病に起因する軽度認知機能障害の発症遅延	米国 欧州	P - III P - III
<b>TVP-1012</b> *6 ＜rasagiline＞	モノアミン酸化酵素 B（MAO-B） 阻害薬（経口剤）	パーキンソン病	日本	P - III
<b>TAK-041</b> ＜ - ＞	GPR139 アゴニスト（経口剤）	統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状	—	P - I
<b>TAK-058</b> ＜ - ＞	5-HT3 受容体アンタゴニスト（経口剤）	統合失調症に伴う認知機能障害	—	P - I
<b>TAK-071</b> ＜ - ＞	M1 受容体ポジティブアロステリック 調節薬（M1PAM）（経口剤）	アルツハイマー型認知症	—	P - I
<b>TAK-653</b> ＜ - ＞	AMPA 受容体ポテンシエーター（経口剤）	治療抵抗性うつ病	—	P - I
<b>TAK-831</b> ＜ - ＞	D - アミノ酸化酵素阻害薬（経口剤）	小脳性運動失調、統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状	—	P - I
<b>TAK-935</b> ＜ - ＞	CH24H 阻害薬（経口剤）	希少小児てんかん	—	P - I

\*6 Teva 社のテリトリーにおける製品名：AZILECT®

## ■ ワクチン

開発コード 製品名	薬効（投与経路）	適応症／剤型追加	開発段階
<b>TAK-816</b> <sup>*7</sup> VAXEM Hib® (日本)	Hib ワクチン（注射剤）	筋肉内注射（Hib 感染症予防）	日本 承認（16/12）
<b>TAK-003</b>	4 価 Dengue 熱 ワクチン（注射剤）	Dengue 熱の予防	— P – III
<b>TAK-214</b>	ノロウイルス ワクチン（注射剤）	ノロウイルスによる急性胃腸炎の予防	— P – II b
<b>TAK-021</b>	EV71 ワクチン（注射剤）	エンテロウイルス 71 により発症する手足口病の予防	— P – I

\*7 厚生労働省より製造販売承認を取得したが、本ワクチンの当社への唯一の供給元であるグラクソ・スミスクライン（GSK）社が、製造および供給を中止すると決定したことに伴い、発売を断念することになった。

## ■ その他

開発コード ＜一般名＞ 製品名	薬効（投与経路）	適応症／剤型追加	開発段階
<b>SYR-322</b> ＜alogliptin＞ ネシーナ®（米国、日本） VIPIDIA®（欧州）	DPP-4 阻害薬（経口剤）	メトホルミンとの合剤（2 型糖尿病）	日本 承認（16/9）
<b>TAK-385</b> ＜relugolix＞	LH-RH アンタゴニスト（経口剤）	子宮筋腫	日本 P – III
		子宮内膜症	日本 P – II b
<b>MT203</b> ＜namilumab＞	GM-CSF モノクローナル抗体 （注射剤）	関節リウマチ	欧州 P – II b 日本 P – II a
<b>TAK-020</b> ＜ - ＞	フルトン型チロシナーゼ阻害薬 （経口剤）	関節リウマチ	— P – I
<b>TAK-079</b> ＜ - ＞	細胞溶解性モノクローナル抗体 （注射剤）	全身性エリテマトーデス	— P – I

■ 最近のステージアップ品目 ※2015年度決算開示（2016年5月10日）以降の進捗情報

開発コード ＜一般名＞	適応症／剤型追加	国／地域	進捗情報
TAK-390MR ＜dexlansoprazole＞	青年期酸関連疾患	欧州	承認（16/5）
TAK-390MR ＜dexlansoprazole＞	青年期酸関連疾患	米国	承認（16/7）
SGN-35 ＜brentuximab vedotin＞	自家造血幹細胞移植後のホジキンリンパ腫	欧州	承認（16/7）
SYR-322 ＜alogliptin＞	メトホルミンとの合剤（2型糖尿病）	日本	承認（16/9）
MLN9708 ＜ixazomib＞	再発・難治性の多発性骨髄腫	欧州	承認（16/11）
TAK-816	筋肉内注射（Hib感染症予防）	日本	承認（16/12）
TAK-003	デング熱の予防	—	P－Ⅲ
TAK-438 ＜vonoprazan＞	プロトンポンプ阻害薬による治療で効果が不十分な患者における逆流性食道炎	—	P－Ⅱb
MLN0002 ＜vedolizumab＞	同種造血幹細胞移植を受ける患者における移植片対宿主病の予防	米国	P－Ⅰ
TAK-041 ＜ - ＞	統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状	—	P－Ⅰ
TAK-071 ＜ - ＞	アルツハイマー型認知症	—	P－Ⅰ
TAK-202 ＜plozalizumab＞	固形がん	—	P－Ⅰ
XMT-1522 ＜ - ＞	HER2 陽性の固形がん	—	P－Ⅰ
MLN9708 ＜ixazomib＞	再発・難治性の多発性骨髄腫	日本	承認（17/3）
＜brigatinib＞	クリゾチニブ投与中に進行した、あるいはクリゾチニブ不認容のALK 陽性転移性非小細胞肺癌	米国	承認（17/4）
SGN-35 ＜brentuximab vedotin＞	再発性皮膚 T 細胞性リンパ腫	欧州	申請（17/4）
TAK-385 ＜relugolix＞	前立腺がん	日本	P－Ⅲ

※太線以下は、2016 年度第 3 四半期決算開示（2017 年 2 月 1 日）以降の進捗情報

■ **開発中止品目** ※2015年度決算開示（2016年5月10日）以降の情報

開発コード <一般名>	適応症／剤型追加（開発段階）	中止および終了理由
<febuxostat XR>	徐放製剤（高尿酸血症）（米国 P-III）	P-III 試験結果を踏まえ、開発中止を決定。
NE-58095NF <risedronate>	剤型追加／用法・用量変更（骨粗鬆症） （日本 P-II / III）	試験結果を踏まえた戦略的な理由により、開発中止を決定。
MLN8237 <alisertib>	小細胞肺癌（米国、欧州 P-II b）	これまでに得られた臨床データを踏まえ、本薬のリスク／ベネフィットを検討した結果、今後さらなる開発を行うだけの十分な根拠が得られず、開発中止を決定。
TAK-850	インフルエンザウイルスの A 亜型および B 亜型によるインフルエンザの予防（日本 P-II a）	プロジェクトの再評価により、開発中止を決定。
TAK-915 <->	統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状 （P-I）	当社における本薬の優先順位を下げ、導出を含め、他のオプションを検討。
TAK-117 <->	非小細胞肺癌（米国、欧州 P-I / II）、 胃癌（P-I）	差別化に向けた P-II 試験の高い要件を満たす可能性が低いため、両効能での開発中止を決定。さらなる開発の可能性については引き続き検討。
TAK-063 <->	統合失調症（米国 P-II a）	P-II 試験の副次評価項目（臨床全般印象評価尺度-重症度、臨床全般印象評価尺度-改善度）では有効性をサポートする結果が得られたが、主要評価項目は達成しなかったため、開発中止を決定。異なる効能で開発の可能性を検討。
TAK-272 <->	糖尿病性早期腎症（日本 P-II b）	スペシャリティ CV 領域の優先順位を下げるため、導出を含め、他のオプションを検討。 <b>進捗情報：</b> 産業革新機構、当社、およびメディカルホールディングスの共同出資によって設立された株式会社スコピファーマに TAK-272 を導出。
TAK-924 <pevonedistat>	固形がん（P-I）	戦略的な理由により、本効能での開発中止を決定。
TAK-536 <azilsartan>	アムロジピンとヒドロクロチアジドとの合剤 （高血圧症）（日本 申請）	本開発品を再評価した結果、当社は本薬が患者さん、医療関係者、医療社会全体に必ずしも新たな価値を付加できないと判断したため。
MT203 <namilumab>	乾癬（欧州 P-II）	P-II 試験の主要評価項目を達成しなかったため、開発中止を決定。異なる効能での開発は継続中。
TAK-828 <->	クローン病（P-I）	サルおよびラットにおいて重篤でモニター不可能な毒性所見が見られ、さらにヒトにおいて催奇形性の可能性があることを判明したため、本薬の開発中止を決定。

※太線以下は、2016 年度第 3 四半期決算開示（2017 年 2 月 1 日）以降の情報

■ **返還・売却・他社へ導出した品目** ※2015年度決算開示（2016年5月10日）以降の情報

開発コード <一般名>	適応症／剤型追加（開発段階）	変更理由
AMG 386 <trebananib>	卵巣がん（日本 P-III）	P-III 試験結果が所定の基準を満たせず、本薬の権利を Amgen 社に返還することを決定。
TAK-385 <relugolix>	前立腺がん（米国、欧州 P-II b）	日本とアジアの一部の国を除く全世界における relugolix の独占的権利を Myovant 社に供与。
AMG 403 <fulranumab>	疼痛（日本 P-I）	開発戦略の見直しにより、本薬の権利を Amgen 社に返還することを決定。
TAK-272 <->	糖尿病性早期腎症（日本 P-II b）	産業革新機構、当社、およびメディカルホールディングスの共同出資によって設立された株式会社スコピファーマに TAK-272 を導出。

2. 研究の状況

■ **主な共同研究開発活動**

**がん領域**

提携先	国	内容／目的
Crescendo Biologics	米国	がん領域における Humabody® を用いた治療薬の創製、開発および販売
Gencia LLC	米国	血液疾患および炎症性疾患を対象とし、ミトコンドリア結合型糖質コルチコイド受容体作動薬（IMAGR 作動薬）の研究開発
ImmunoGen, Inc.	米国	ADC（抗体薬物複合体）技術
Maverick Therapeutics	米国	T細胞によるがん細胞認識および攻撃能力の有効性を向上させるために開発された T細胞誘導療法の基盤技術開発
Mersana Therapeutics	米国	ADC（抗体薬物複合体）技術
Seattle Genetics	米国	ADC（抗体薬物複合体）技術

## 消化器系疾患領域

提携先	国	内容/目的
Arcturus	米国	非アルコール性脂肪肝炎などの消化器系疾患を対象とした、RNA をベースとする治療薬の共同開発
Cour Pharmaceutical Development Company	米国	Cour社が有するTolerizing Immune Modifying nanoParticles(TIMP)技術に基づくナノテクノロジー技術を利用し、セリアック病等の消化器疾患の治療薬となり得る免疫調整薬を創出
enGene	カナダ	enGene社の遺伝子導入基盤技術である「Gene Pill」を活用し、専門的な消化器系疾患領域に対する新規治療薬を創出
Enterome	フランス	潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患や過敏性腸症候群などの腸管運動障害をはじめとした消化器系疾患において重要な役割を担うと考えられる腸内細菌を標的とした新たな治療薬を創出
Finch Therapeutics	米国	炎症性腸疾患を対象とした腸内細菌移植試験における良好な臨床結果との関連が示唆される複数の細菌株を培養した前臨床段階の生菌カクテル製剤であるFIN-524の全世界を対象とした共同開発
NuBiyota	カナダ	Microbial Ecosystem Therapeuticを活用した腸内細菌由来の治療薬の研究開発
PvP Therapeutics	米国	グルテンが持つ自己免疫反応を引き起こす成分を胃の中で分解するように設計された酵素製剤であるKumaMaxの全世界を対象とした共同開発

## 中枢神経系疾患領域

提携先	国	内容/目的
Affilogic	フランス	Affilogic社が有するNanofitin®技術を活用し、中枢神経系疾患を対象とした治療薬に関する共同研究開発
Cerevance	米国、英国	神経・精神疾患に対する新薬の研究開発
Ovid Therapeutics	米国	CH24H阻害薬であるTAK-935（経口剤）について、希少小児てんかんでの共同開発
Ultragenyx	米国	希少遺伝子疾患
Zinfandel Pharmaceuticals	米国	アルツハイマー病のバイオマーカーであるTOMM40

## ワクチン

提携先	国	内容/目的
米国政府 The Biomedical Advanced Research and Development Authority (BARDA)	米国	米国や世界中の流行地域でのジカウイルス感染への取り組みとして、当社が有するジカ熱ワクチン（TAK-426）の開発をBARDAが助成
Bill & Melinda Gates Foundation	米国	発展途上国でのポリオ根絶を目指し、当社が有するセーピン株不活化ポリオワクチン(TAK-195)の開発をBill & Melinda Gates Foundationが助成
Zydus Cadila	インド	顧みられない新興感染症への取り組みとして、チクングニア熱ワクチン（TAK-507）を共同開発

## その他/複数の疾患領域

提携先	国	内容/目的
アステラス製薬、第一三共	日本	革新的医薬品の創出を効率化・加速化するための、健康成人におけるバイオマーカーの基礎データ
Aquinnah	米国	筋萎縮性側索硬化症（ALS）を対象とする低分子薬の共同研究
Biomotiv	米国	免疫・炎症および代謝性・循環器疾患領域において革新的な新薬候補物質の同定・開発の強化に向けた提携
Bridge Medicines	米国	Tri-I TDIで採択された研究プロジェクトに対して、資金面、運用面、管理面での支援を行い、有効性やターゲットの創薬上の検証であるブルー・オブ・コンセプト（POC）試験から臨床試験への移行まで継ぎ目なく実施
京都大学iPS細胞研究所（CiRA）	日本	心不全、糖尿病、神経疾患、がんなどにおけるiPS細胞技術の臨床応用
Dementia Discovery Fund (DDF)	グローバル	認知機能障害の革新的治療のための創薬・開発を支援するグローバルな投資ファンド
慶應義塾大学、新潟大学、京都大学	日本	中枢神経系疾患やがんなどを対象とした、疾患関連RNA結合タンパク質の探索と機能解析
M2Gen	米国	がん患者のゲノムデータ
MacroGenics	米国	MacroGenics社のDual-Affinity Re-Targeting（DART®）技術を活用し、両社が共同で選定した2つの分子を標的とする新薬候補物質の研究開発
国立がん研究センター	日本	抗がん剤の創薬やがん生物学の研究に携わる研究者、医師などの交流を促進による、基礎研究から臨床試験までの治療オプションの探索
Trianni, Inc.	米国	Trianni社の有する次世代の遺伝子導入マウスの基盤技術を用いて、当社が研究対象とする全ての疾患領域において、ヒト型モノクローナル抗体を作成
Tri-Institutional Therapeutics Discovery Institute (Tri-I TDI)	米国	産学連携を推進し、革新的な医薬品を創出

### ■ ホームページで開示している臨床試験情報

全ての臨床試験情報は自社ホームページの英文サイト（<https://takedaclinicaltrials.com/>）で、日本における情報については和文サイト（<http://www.takeda.co.jp/research/ct/>）で公開しています。当社では、全世界の医療関係者および患者さんなど多くの方々に臨床試験情報を公開することにより、当社製品のより一層の適正使用に資するものと考えています。



武田薬品工業株式会社